

サロン『おひさま』便り

由利組合総合病院 がん相談支援センター

平成26年6月28日号

おひさまは、毎月第3火曜日にがん患者さんやご家族が気軽に集まり、治療についての理解を深めたり療養体験や気持ちを分かち合う場づくりの目的でがん相談支援センターで行っています。

6月は、平日はお仕事で参加できない方にもサロンに参加してほしい、知ってほしいと考え由利本荘市文化交流館カダーレで行いました。

本荘第一病院の緩和ケア認定看護師小松さんの講演会では、がんに対する心の反応やがんとの上手な付き合い方、がんの人との関わり方などを分かりやすく教えていただきました。

体験発表では、乳がんと共に歩んできた時間、父親の闘病生活に娘として支え過ごした日々をお話していただき、茶話会では、患者さん・ご家族・ご遺族・医療関係者のグループに分かれお茶とケーキを食べながらそれぞれの思いを語る時間となりました。患者さんたちは、病気について語り合い、家族の方たちは、がん患者を支える家族として日々葛藤している様子を分かち合い、また遺族の方たちは、あれでよかったんだと一歩前に進み、医療関係者は、自分たちの関わりを振り返り寄り添うということがどういうことなのかを再度確認できた2時間でした。休日の午後に参加してくださいました20名のみなさんありがとうございました。



第一病院 緩和ケア認定看護師 小松さんの講演会
『もしもがんといわれたら』



毎月の『おひさま』で参加者の皆さんが描いた作品の展示コーナー



体験発表をしてくださったお二人。
心を打たれ希望と安心感をもらいました。
貴重なお話をしていただきありがとうございました。

※7月15日（火）のテーマ※
場所：がん相談支援センター
（由利組合総合病院1階）
時間：10時～15時
薬剤師への相談会
11：00～11：40
パステル和みアート
テーマ：海